

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌



2011

8月号

Vol.171

毎月1日発行

# 杜の伝言板

# ゆるるる

## 特集 復興への道

- NPO法人なごみ
- NPO法人泉里会
- NPO法人 輝くなかまチャレンジド 地域活動支援センターころろ・さをり
- NPO法人 住民互助福祉団体ささえ愛山元
- 山元町災害ボランティアセンター



災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

■トピックス／夏ボラ2011 事前学習会

■みやぎNPOプラザ／50歳からのNPO実践塾

～想いを形に～ 一歩を踏み出すには…



# 利用者の笑顔を取り戻すために

## NPO法人なごみ

宮城県北東部に位置する気仙沼市は、三月十一日に津波の影響で多くの建物が流され、町は未だに混沌としています。宮城県気仙沼市と岩手県一関市で高齢者のグループホームやデイサービスを運営しているNPO法人なごみも、今回の震災で、気仙沼市本吉町の施設四棟を流出しています。

なごみは平成十六年十一月二十五日に設立し、震災前には、グループホーム五棟、デイサービスを一棟、小規模多機能施設を一棟、ケアプラザセンターを二棟運営していました。流出した施設が建っていた気仙沼市本吉町後田は、防災マップでもここまでの被害はないだろうと表示されていた場所でした。しかし、施設四棟は、すべて津波で流されてしまいました。



▲ 4施設が流失した本吉町の跡地

しかもその中の一棟「ぼらんデイサービス」は、今年の七月に新築したばかりの施設でした。

当初は利用者が亡くなったこともあり、職員や利用者は気落ちし、本当に悲しく大変な日々を過ごしていました。流失した施設で暮らしていた利用者は、震災後、津波の被害がなかった気仙沼市東新城にある「グループホームぼらん気仙沼」に移り、定員九名のところに二十四名の利用者が暮らす状況となりました。建物にゆとりがあるといっても、長期に涉るとなると精神的負担も計り知れません。利用者や職員の為にも一刻も早く高齢者の居場所を作らなければなりません。

### 素早い対応で再開へ

そこで理事であり、統括本部長である木村伸之さんは、「利用者の生活の質や快適性が衰えないよう努力するとともに、新たな施設を建築することにより早く取り組みました。」

まず、津波に流されたデイサービス施設に代わり、賃貸の建物を改修してデイサービス事業を再開しました。また、流されたグループホーム二棟の対処として、一棟は岩手県一関市室根町に法人で所有する建物を改装し、仮施設として運営しているほか、震災当初からもう一棟のグループホームを

建築しようとして動き、現在も十八名がともに過ごしている「グループホームぼらん気仙沼」の隣の敷地内に、新しいグループホームを六月に着工。八月中には完成する予定です。

このように組織としての素早い決断力が、施設の利用者や地域の皆さんに



▲ 統括本部長の木村伸之さんと事務局スタッフの賀藤優香さん

も力強い存在となっています。しかし、流された建物の借入も残っていた為、資金対策に毎日奔走されています。それでも利用者の笑顔を取り戻すために職員みんなで復興に励んでいます。

### グループホームへの思い

木村さんには高齢者施設にこだわりを持つことになった体験がありました。木村さんの仙台の祖母が介護施設を利用する中で、せっかく施設を探して入所しても、祖母と施設が合わず出入りを繰り返す、計七か所を転々としたことがずっと胸に引っかかっています。その後、宅建業をしていた木村さんが福祉施設の建築に関わったことで、祖母への罪滅ぼしも含め納得の行

く高齢者施設を自ら運営する決意をしたのです。

これまでグループホームは利用者の生活の質を高められるような、高齢者のオアシス的な居場所であることを心がけて、建物にこだわりを持って建築してきました。その為、グループホーム内は廊下やホール等ゆとりがあるスペースが多く、明るく居心地が良い空間になっています。

「震災から多くのことを学びました。毎日、再開へ向けて動き回っている中で、二十四人の利用者が食卓を囲んで食事をしている笑顔を見るととても励みになりました。今後は、NPOとして復興への活動や、外に向かって行う活動も積極的に行っていきたい。」と木村さん。

### ▼ 東新城に建築中のグループホーム



まずは、気仙沼市の委託事業で仮設住宅の見直しなど、震災の復興の一助に地域の為になるような活動も行い、復興への道を目指します。

NPO法人なごみ

〒九八八-〇〇五二

宮城県気仙沼市田中三六番地一

TEL: 〇二二六-二三一七五三一



▼津波で流されたケアホーム・イチゴハウス跡地



らもとても  
おもしろい  
好評でした。  
そのハウスの  
側に、地域の  
要望から  
ケアホーム  
を増やそう  
と、昨年末か  
ら二棟目の

「ケアホームめぐみ中島」設立に向け  
て動き出していました。  
「ケアホームめぐみ中島」は、平成二十年七月から気仙  
沼市本吉町津谷で、障がい者の自立生  
活支援施設「ケアホームめぐみ」を運営し  
ています。ケアホームめぐみは、定員  
が7名で、職員と利用者の距離感が近  
く、とてもアットホームな空気が感じ  
られる施設です。  
また、昨年からは、障害者の就労所  
としてイチゴハウスを経営していまし  
た。ハウスは障害者も健常者も多くの  
方が参加して栽培し、地域のコミュニ  
ティのひとつとなっていたほか、大き  
く甘い実がなる為、収穫時期には地域  
の人たちか

気仙沼市本吉町には、大震災の津波  
の影響で小泉大橋や道路が崩れ、六月  
まで立ち入り禁止になっていた地区が  
ありました。その一面に障害者の自立  
生活支援施設「ケアホームめぐみ中島  
」がありました。四月のオープンを控  
え、県の担当部署の審査を受ける直前  
で津波に流されました。設置者は  
NPO法人泉里会です。

# 大津波に飲み込まれた ケアホームとイチゴハウス

## NPO法人泉里会

震災前の三月初めに賃貸で借りた建  
物の改修工事が終わり、気仙沼保健福  
祉事務所に事業所指定を受けオープン  
する予定でしたが、三月十一日の震災  
で建物はすべて津波に流されました。  
また、地域の人たちから親しまれて  
いたイチゴハウス五棟も津波にのまれて  
あとかたも無くなってしまいました。

## 大津波に飲み込まれた ケアホームとイチゴハウス

幸い、前から運営していた「ケアホ  
ームめぐみ」は津波の被害もなかった  
為、震災当初は職員や利用者、地域の  
住民など一時は約四十人が避難してき  
ました。震災から約一か月間はライフ  
ラインもなく、その日その日の生活が  
精一杯で、先の見通しや津波で流され  
てしまった施設のことまで考える余裕  
はありませんでした。  
しかし、「津波で流された地域で  
は、いつ事業を再開できるかはわから  
ないが、具体的に決まっていなけれ  
ば、障害を持つ方々が再開を待ってい  
るのを見ると、やっぱり建物の被害が  
大きかったから辞めよう、という気持  
ちにはならないですね。むしろこの仕  
事には終わりはしないので、必ず立ち上  
がって再開します。」と理事長の森谷  
隆三さんは話しています。

今回の被害額は、建物のリフォーム  
代やイチゴハウスなど二〇〇万円近  
くになります。この状況で新たに事業  
を始めるのはとても大変なことです  
し、再開するにはとても大変なことで  
めどない地域に住めなくなるのか、と  
いう市の方針が決まらなないと難しい状  
況です。  
でも、「実際に辛いのは、お金の損  
失だけではなく、これまで地元の人た  
ちと共に作り上げてきた町や繋がりが  
、津波で一瞬にして無くなってしま  
ったことです。」と森谷さん。  
新たに施設を建て、地元との繋がりを  
しっかりと再構築し活動していくよ  
う、今は先への見通しが少しずつ見え  
始めています。



▲理事長の森谷隆三さん

## 新たなニーズから再開へ

まず、地域に高いニーズがある障が  
い児の日に中一時預かり事業は夏休みに  
利用者が大きく増える為、プレハブを  
建築し、八月のオープンに向け動き出  
しています。日本財団や認定NPO法  
人難民を助ける会に施設再建のための  
助成金を申請中。  
また、流失したグループホームの再

建の為、本吉町内に新たなケアホーム  
を建てる予定で進めています。  
「震災で本当に大変な状況になりま  
したが、沢山の人の巡り合えて、多く  
の支援をいただいたことがとても力に  
なり救われました。今は、前を向いて  
新たな取り組みに向けて動き出してい  
ます。」と、支援してくれた多くの方  
の写真や手紙が貼られている玄関を見  
ながら、ケアホームめぐみの管理責任  
者の菅原満子さんは話しています。  
菅原さんは、「少しずつですが、前  
を向いて歩き始めているのは、利用者  
や職員、また多くのボランティアや支  
援者がいたからです」と人のつながり  
に感謝しています。



▲ケアホームめぐみの管理責任者菅原満子さん

## NPO法人泉里会

〒九八八-〇三三三  
宮城県気仙沼市本吉町中島一四一六  
TEL: 〇二二六-一三三二二六



# 地域活動支援センターこころ・さをり 仮施設で、再スタート!

## NPO法人 輝くなかまチャレンジド

障がいを持つ社会的に弱い立場の人の自立と社会参画を支援するNPO法人輝くなかまチャレンジドは、石巻市吉野町に拠点をもち活動しています。特徴は、さをり織りを中心に活動する「地域活動支援センターこころ・さをり」を運営していることです。「手本はいらない、自分の思い通りに織ればよい」をモットーに、城みさをさんが創り出した、好きに織ることで最高に自分の感性を引き出す手織り「さをり織り」です。

理事兼センター長の内海幸子さんがさをり織りに出会ったのは、友人がラジオで城さんの話を聞いて感動し、友人と一緒に展示会へ行き、親子で教室へ習いに行ったのがきっかけでした。その後、内海さんが石巻へ転居し、十余年前に「さをり織り」の教室「手織りサロン絆」をスタートしました。

サロンは、障がい者も健常者もさをり織りに興味がある人ならだれでも一緒に織ることを楽しむことができる場所です。その参加者の中に、障がいの程度が軽いが為に、企業で働くことも出来ず、また、施設に所属することもふさわしくない人達が、高校を卒業したら家にひきこもってしまう、社会との関わりがなくなってしまう人がいる。その現状をどうにかしなければという思いで、平成十七年二月に「NPO法人輝くなかまチャレンジド」を設立しました。

「手織りサロン絆」と同じフロアで作品を製作販売する「小規模作業所こころ・さをり」は、社会参画を目指す働く場として取り組む作業所としてスタートし、平成十七年八月には、宮城県と石巻市の公的支援を受けられることになりました。

### 助け合いで救助まち

震災当日は、調理実習の後片付けが終わり、織りの作業を始めて間もなく、地震が発生しました。避難所への避難が発令されて、避難所に逃げようか、その場に留まろうかと思案しました



が、6階建のビルだったため、外に逃げては間に合わないという判断で、拠点のある二階から五階の空室へ避難しました。しかし周辺の建物は津波にのまれ、一面海水が浸水したため、近所の方も含め、40人以上が避難してきました。部屋にあった備蓄の食糧を分けあい、石油ストーブで暖をとりながら、いつまで続くのか先の見えない状況が続く、結局一週間あまり助け合いながら救助を待ちました。幸い、利用者や職員全員が無事でしたが、命を守ることの重さを考えさせられました。

「地震で備品が壊れ、車は津波で浸水するなど、あまりの被害の大きさに、活動再開を断念しようと考えていました。しかし利用者の方や多くの支援者の応援と再開を楽しみに待っているという言葉に、期待に応えるよう、準備にとりかかっているところです。」と内海さん。

### 何とか活動を再開

今、スタッフの自宅を仮の拠点として活動を再開しています。そして八月からは、仮設住宅内のサポートセンターで二年間、活動できる話が進んでいきます。同センターは、高齢者と障がい者対応のバリアフリーの建物で、今、自宅待機中のクリエイターにとっては、活動しやすい拠点となることでしょう。震災によって活動内容は、変えざるをえませんが、「個々を大切に活動は今後も続けていきたい」と内海さん。

ひとりひとりが異なる差を織る。だからひとつとして同じ作品ができないのが

「さをり織り」です。一般的に障がいの作業所に通う人々を「利用者」と呼びますが、ここでは、製作者であり作家なので「クリエイター」と呼んでいます。年に数回開催する作品展で発表した、織られた布地はスタッフの手によってペンケース、コインケース、コースター、衣類などの製品になって様々なところで出店販売します。販売の収益は、自分の作品が売れた分だけそれぞれの製作者に報酬となって渡されます。受け取る報酬は各人異なりますが、不思議と仲間同士で不平は出ないとか。それぞれのペースで作品作りに取り組むクリエイターの皆さん。これからまた、自分らしい作品作りが始まります。



▲ 制作中のクリエイター

NPO法人  
輝くなかまチャレンジド

〒九八六-0001  
石巻市吉野町二丁目一-二六  
石巻水産ビル二階  
TEL: 0225-3310659



# 地域住民のために活動を再開

## NPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元

「地域住民で支える人も支えられる人も、愛をもつて共に支え合いたい」という想いから名付けられたNPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元。誰もが心豊かに安心して暮らしていける地域社会を目指し、平成十一年から山元町のふたつの施設で、居宅、訪問介護、通所の介護保険事業と、託老、移送、雑用代行の介護保険事業外事業を行ってきました。

### 二つの施設に大きな被害

三月十一日の大津波では、ふたつの施設は共に大きな被害を受けました。JR常磐線の東側に位置するデイホームと事務所を兼ねた施設は、全壊。施設に当っていた四名のうち、地震直後に車で帰宅しようとしたスタッフ二名は津波にのまれ亡くなりました。代表の中村玲子さんは、事務所横の自宅離れに帰宅直後津波に襲われ、首まで水に浸かりながら十四時間過ごし、ようやく助かりましたが、自宅にいた夫は家ごと流され亡くなりました。

▼ 土台だけを残して流出した、デイホーム



ンをロープ代わりに九人を引き揚げ、施設にあった紙おむつで体を拭いたり、マッサージをして体を温めたおかげで、十二名は一晚二階で過さし、全員無事に助かりました。

### 助かった命を地域の ために尽くしたい

家族やスタッフ、施設など多くを失い、代表の中村さんは氣力をなくして塞ぎ込む日々が続きました。そんな氣持ちを少しずつ和らげてくれたのは、全国から寄せられるさまざまな励ましでした。「たくさんの方たちに自分たちは支えられているのだ、改めて氣づかされました。十四時間水に浸かり、何度ももうだめか?と心によぎった時、『私にはささえ愛山元がある。死んでいられない』と思ったことを思い出しました。せつかく助かった命。地域のために役立たせなければと思いました」

GWを過ぎたころから氣持ちもだいぶ前向きになってきて、再開に向けて考え始めました。とはいえずべて流出し、活動再開への課題は山積みです。「前例をいくつか見てきたので、『NPO法人の介護保険事業者は必ず支援をしてもらえ。はず。待って!』とスタッフに言いましたが、皆はあまり信じてはいませんでした。でも本当にさまざまな支援や助成金などいただき、次への一歩を踏み出せることになりました」



▲ 代表の中村玲子さん

### 再開に向けて始動

現在は互理町で、県内の障害者支援に取り組んでいるC-1したすけつとやNPO法人麦の会などが立ち上げた「被災地障がい者センターみやぎ」より委託をうけ、県南支部の運営を行い、地域障害者への物資搬入などをおこなっています。また、ここを拠点に被災者に少しでも元氣になつてもらえるよう、イベントなどを開催しています。六月には仮設住宅に出向きバラソル喫茶を開いておしゃべりを楽しんだり、七月には東京の慰問エステ隊を受け入れ、県南支部を会場に被災者向けのエステサロンを開きました。参加した被災者の方たちが、震災以来こんな楽しかったのは初めてと言ってくれました。今まで物資の支援ばかりに目を向け

ていましたが、こうしたことが心を元氣にするのだと、改めて知らされました。今後さまざまなイベントを行う予定です。

五月からはデイサービスセンター「ミニホーム愛広館」のリフォームにも着手。十月には再開したいと考えています。山元町では要介護者の四割が亡くなったと言われ、今後の事業運営は決して安泰ではありませんが、氣持ちは前向きです。

「震災で失ったものは計り知れませんが、その後に支援をして下さった多くの方たちから本当にたくさんのお金を得ました。この縁が今後の私たちの財産になっていくと思います。ゼロからのスタートですが、時間をかけて今まで以上に住民相互でささえあつて行ける地域を作って

いきたいですね」。将来は山元町の森の中で、高齢者のための総合施設を運営したいと考えている中村さん。まずは一歩を踏み出します。

▼ デイサービスセンター「ミニホーム愛広館」



NPO法人  
住民互助福祉団体ささえ愛山元

〒九八九-二〇〇  
宮城県亶理郡山元町山寺字北頭無二〇〇一三  
TEL・FAX: 〇二二三-三六八一〇六



# 山元町の復興のために活躍

## 山元町災害ボランティアセンター

温暖な気候から東北の湘南と呼ばれる山元町。海岸沿いのストロベリーラインにはイチゴ農家のビニールハウスが並び、町中央部には田んぼが広がる、のどやかな風景の町は、三月十一日の大津波で平野部の大半が飲み込まれ、景色を一変させました。震災前、山元町の全人口は約一万六千人、世帯が約五千五百戸でしたが、七月八日時点で死者・行方不明者合わせて七百九十二名、家屋の全壊が五百二十四戸、半壊（大規模半壊含む）が九百四十七戸、一部破損が一千十九戸の被害がでています。

### 震災翌日から活動開始

山元町災害ボランティアセンター（以下、ボランティアセンター）は、山元町災害本部からの要請を受けて、震災翌日の三月十二日に立ち上げました。「以前から津波被害を想定し、支援訓練をしてきましたが、今回の被害は予想をはるかに上回るため、今までのシミュレーションは全く機能しませんでした。とにかく手探りで動き始めた状態です」と、ボランティアセンターの高橋和子さん。役場前の駐車場に車で避難をしている被災者に声をかけてボランティアを募り、まずは、役場などに備蓄していた物資を避難所に届けたり、炊き出しを始めました。その後ガソリン事情もあり主に町内の

▼ 山元町災害ボランティアセンターの受付



人に限定したボランティアが、多いときで約十二ヶ所の避難所の支援物資の搬送や仕上げ、炊き出しなどを担いました。

### 『側溝↑速攻隊』が大活躍

山元町では、しばらくの間被害のあった地域を立ち入り禁止区域に指定し、住民が立ち入ることができませんでした。指定が解除されたのは四月九日からで、被害が比較的軽かった町北側の第一次地域から始まり、第五次地域まで、順次被災者は自宅に戻って荷物を持ち出したり、自宅の片付けを始めました。それに伴ない家屋への泥だしの要請が増え、県内のボランティアだけでは賅いきれなくなつたため、GW明けからは県外からも受け入れはじまりました。

受入のスタートが遅かつたため、人が集まるか不安でしたが、多くの方が全国から駆けつけ、六月二十五日の三百二十人を最高に、今も週末には平均百五十人

超の人が活躍しています。

ボランティアセンターでは、個人はもちろん、団体ボランティアを積極的に受け入れようと、『山元町側溝↑速攻隊』（そっこうあげそっこうたい）を立ち上げました。これは一グループ二十〜四十人を、泥出しの要望がある地域に派遣し、一、二日で建物はもちろん側溝や地域のがれきなど、街区一帯を片付けます。「参加者の方は一、二日しか居れないという思いがあるのか、とても集中して活動して下さるので、一気にきれいになるんですよ」。『側溝↑速攻隊』をはじめ多くのボランティアの活躍で、街のへド口がだいぶ片付けられてきています。



▲ 側溝↑速攻隊が街を一気に片付ける

### オリジナルTシャツで絆を強める

ボランティアセンターの運営は、山元町社会福祉協議会の職員のほか、支援協定で応援に入っている京都府、京都市、仙南四市九町（輪番制）の各社会福祉協

議会の職員、NPOからの出向のスタッフなどが担っています。

さまざまな人が関わる中で、スタッフはもろもろボランティアも一緒に、一体感を持って活動するシンボルとして、オリジナルTシャツを作ることになりました。そこで五月にブログでボランティアのデザイン案を募ったところ、全国から三十件の応募があり、ボランティアセンタースタッフが二案に絞って、ボラセンに掲示、ボランティアの投票により決定しました。七月三日から販売（一枚1500円）を開始しています。各産のイチゴとリンゴをあしらったデザインが山元町らしいと、評判です。現地で購入、もしくはFAXでの注文で販売しています。

▼ 高橋和子さん



ボランティアセンターの運営は、要請の状況を見て八月末程度をめどに閉鎖が予想されています。ボランティアセンターという形は今後無くなりますが、九ヶ所の仮設住宅を訪問して安否確認をするなど、住民への支援は今後も継続していきたいと考えています。

### 山元町災害ボランティアセンター

〒九八九二二〇三

豆理郡山元町浅生原字作田山三二

TEL・FAX: 〇二二三三三七二七八五

<http://msc3151a-bosai.jp/gvca.php?pd=10117>



# 浜の渚を取り戻そう！

## 七ヶ浜再生プロジェクト

仙台湾に突き出た七ヶ浜半島を町域とする七ヶ浜町（しちがはままち）は、「うみ・ひと・まち 七ヶ浜」をキーワードに、温暖な気候やコンバクトで機能的な都市機能を生かした、住民との協働によるまちづくりに取り組んでいます。町名は、海沿いに湊浜・松ヶ浜・葦蒲田浜・花淵浜・吉田浜・代ヶ崎浜・東宮浜と、七つの集落があったことから七ヶ浜と名づけられたといわれています。

特に、葦蒲田浜は夏でも波が穏やかなため、宮城県内では最も利用客の多い海水浴場となっているほか、周辺はサーフスポットにもなっています。近隣には、明治時代に開発された花淵浜字高山にある外国人専用避暑地「高山国際村」や、隣接して七ヶ浜国際村があるなど、様々な国際交流の場としても利用されています。

その美しい浜も、三月十一日の東北地方太平洋沖地震により被災。津波で町の面積の約四分の一が浸水しました。浜は瓦礫で埋まりましたが、多くの自衛隊員や災害ボランティアなどで、瓦礫を撤去してきました。が、まだ復旧には時間がかかりそうです。

### きれいな浜を

### よみがえらせた

三月下旬から吉田浜字野山に拠点を作り、毎週十五名のボランティアバスを仕立てボランティア活動を続けてきた愛知県のNPO法人レスキューストックヤードの代表理事栗田暢之さんは、「この三陸の海を前のようにきれいな海辺になるような取り組みは、被災したすべての海岸で取り組んでいく

必要がある。その一歩をこの七ヶ浜から始めて行こう」という声に、仙台の財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）が共鳴し、九月の追悼イベントへ向けての浜再生プロジェクトが動き出しました。

七月二十三日から海岸清掃ボランティアを募り、毎週土曜と日曜の午前中に浜に散らばる漂流物などの清掃を始めました。朝九時四十五分、七ヶ浜生涯学習センター奥のスーパーマーケットの「ボランティアきずな館」に集まり、浜に移動してオリエンテーション後、浜清掃をして昼前に終了するスケジュールになっています。

### 多様な協力で

プロジェクトは、MELONとレスキューストックヤードのほか、地元の豊かな海を守る会、仙台サーフィショップユニオン、NPO支援組織の杜の伝言板ゆるる、企業の社会貢献団体かほく「108」クラブなどが協力体制をとり、実行委員会を作って取り組んでいます。

このプロジェクトは、九月十日の七ヶ浜清掃と、海岸で手をつないで海に向かって黙祷する追悼イベントを区切りとしています。その先も浜の清掃はまだまだ必要とされることでしょう。

それからの活動は、地元の人や、海を愛するサーファー、一〇〇万都市仙台市民など、すっかり多くの人々を巻き込みながら続けていくことが必要です。

自然を取り戻すための息のながい取り組みは、今始まったばかりです。一緒に、七ヶ浜の海岸を元のきれいな姿に戻しませんか？



## 七ヶ浜 海岸清掃ボランティア 募集!!

7/23 (土) ~ 9/4 (日)

毎週土・日 ※8/13・14除く

- 時間 / 9:45 ~ 12:00
- 集合場所 / 仙台市若林区野山5-0-1  
「ボランティアきずな館」

ボランティア受付  
NPO法人  
レスキューストックヤード

申込・Email  
kizuna@rky-nagoya.com  
問合せ・TEL  
090-22852-9994  
(月)木10:00~15:00



# 復興支援事業

## (社)宮城県助産師会 東日本大震災母子支援事業

未曾有の大災害に被災県である宮城県の助産師にできることは何か。この事業は、宮城県の妊産婦を助産師が支援してほしいという要請がたくさんあったことを受け、被災した母子が温かく、おだやかに産後を過ごせるよう、宮城県復興への全国の願いをお受けし実施するものです。

- 事業内容：★妊産婦の助産院入院支援  
内容：助産院に無料で入院でき、赤ちゃんのお風呂や観察、母体復古、母乳育児に関する支援  
対象：本人、または家族が被災された産婦の方（産後21日まで利用可）  
その他事由により産後の休養が取れない産婦の方  
※妊婦の方に関しては応相談  
★産後の家庭訪問、助産院における育児相談  
内容：赤ちゃんのお風呂、ママの身体チェックなど（3回まで(早期退院7回)）  
助産院における育児相談、母乳育児ケアの提供  
対象：本人、または家族が被災された方  
★被災地・石巻における母子支援事業  
内容：助産院への入所無料サービス、産後の母子預かりサービス、産後の家庭訪問サービス、助産院における母乳育児ケアサービス  
対象：石巻周辺および県外の被災妊産婦の方（産婦の方は産後21日まで利用可、妊婦の方は応相談）
- 実施期間：2012年5月14日(月)まで  
※石巻における母子支援事業については8月から実施予定
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください  
(石巻における母子支援事業については、ほんだ母乳育児相談室(TEL: 0225-83-3597)でも受付可)
- 主催：一般社団法人 宮城県助産師会
- 連絡先：〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2-7-48-101  
TEL: 022-297-1551 FAX: 022-349-8377  
E-mail: siensentar@gmail.com  
URL: <http://www.midwife-miyagi.sakura.ne.jp/>

## 3.11伊達な底力、今こそ!!「むすびあい。」プロジェクト

「3.11」市民が撮った震災記録で集まった、市民が撮影した震災復興の写真を写真集として発刊するプロジェクトです。「むすび丸幸せの黄色いむすびあいバンダナ」を販売し、収益を書籍化に充てさせていただきます。3.11震災を後世に残し伝えるために…このバンダナを結び、みんなの心をひとつに「むすびあい」しましょう!

- 商品：★むすび丸幸せの黄色いむすびあいバンダナ  
サイズ：52×52cm  
価格：1,500円(税込)+200円(送料)  
※ご購入支援いただいた方のお名前は本誌に掲載します。
- 購入方法：下記口座まで1,700円(1枚1,500円(税込)+送料200円)を振込。メール便で発送します  
口座番号：ゆうちょ銀行 02240-0-118035  
口座名義：3.11伊達なむすびあいプロジェクト  
※ATMご利用の場合、送金通知(100円)でお知らせ下さい  
※しまぬき(本店・エスバル店)、金港堂でも販売中
- 主催：(特活)20世紀アーカイブ仙台  
(3.11伊達なむすびあいプロジェクト)
- 連絡先：〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-11-2 CLIPビル2F  
TEL: 022-387-0656 FAX: 022-387-0651  
URL: <http://www.d2.dion.ne.jp/~clip/20thcas.html/>
- ★「3.11」市民が撮った震災記録: <http://www.sendai-city.org/311.htm/>

## 被災した親子のための無料託児

震災の影響でお子さんの預け先に困っていませんか?お子さんと離れてほっとする時間が必要ですね。皆さんがひと休みするために、一歩進むためにぜひ無料託児をご利用ください。

- 日時：7月1日(金)~8月31日(水)
- 場所：のびすく泉中央 代替施設内託児室  
(仙台市泉区泉中央1-7-1 泉中央スウィング4F)
- 対象：・東日本大震災で被災し、保護者が以下のいずれかにあたる、6か月~就学前のお子さん  
・地震の影響で引っ越しを余儀なくされ、託児先に困っている方  
・その他、震災による影響で託児先に困っている方  
※対象についてはご相談ください
- 条件：おひとり1回最大5時間、3回までの利用まで
- 主催：一般社団法人マザー・ウイング
- 協力：仙台市子育てふれあいプラザのびすく泉中央
- 連絡先：一般社団法人マザー・ウイング  
TEL: 090-6784-5048

# 被災者電話相談

## 被災者専用 人権相談ホットライン

被災地から避難してきたということで、いじめや差別を受けている。避難所などで性的嫌がらせを受けている。避難所などでトラブルに巻き込まれた…など、どこに相談してよいかわからないという方、下記の連絡先までご相談ください。

- 相談電話番号：022-398-7129
- 相談日時：月曜~金曜(祝日も含む) 9:00~12:00、13:00~17:00  
※土日及び時間外や緊急時、上記の番号に繋がらない場合は090-5831-0810までご連絡ください
- 主催：人権NPO ワールドオープンハート
- 連絡先：〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-12 大町マンション902号室  
TEL: 090-5831-0810 FAX: 022-268-4042  
E-mail: [world.open.heart@gmail.com](mailto:world.open.heart@gmail.com)  
URL: <http://www.worldopenheart.com/>

## 仙台的のちの電話

仙台的のちの電話は震災後、毎日24時間態勢でご相談をお受けしております。この度の東日本大震災に遭われた方も、つらい思いをひとりで抱え込まず、いのちの電話へどうぞお話しくださいませよう…お電話お待ちしております。

- 相談電話番号：022-718-4343
- 相談日：毎日24時間
- 主催：(社福)仙台的のちの電話7
- 連絡先：〒981-8691 日本郵便仙台北支店 私書箱26号  
TEL: 022-718-4401 FAX: 022-718-4431

## エイズ電話相談

HIV/エイズに関する相談や疑問にお答えするために、毎週土曜日「エイズ電話相談」を行っています。被災地にいるHIV陽性者の方や感染の不安がある方からの相談にも、専門的なトレーニングを積んだ相談員がお答えします。

- 相談電話番号：022-276-1960
- 相談日時：毎週土曜日 18:00~21:00(お盆・年末年始を除く)
- 主催：東北HIVコミュニケーションズ(THC)
- 連絡先：〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-7-2  
みやぎのちと人権リソースセンター内  
TEL/FAX: 022-298-8532  
URL: <http://blog.canpan.info/thc/>



今年も熱い体験を

# NPOと高校生との夏ボラ体験



(特活) 社の伝言板ゆるる(以下、ゆるる)が主催する「NPOで高校生の夏ボラ体験2011」(以下、夏ボラ)は、今年で九年目。これまでに夏ボラを体験した高校生は、一〇八六名になりました。今年は、三月十一日に発生した東日本大震災の影響で、春に休校した分、七月下旬まで振替授業となる学校が多く、高校生の夏休み期間は非常に短くなっています。そこでゆるるは、八月一日から二十八日までの期間に変更してボランティア体験をするプログラムにしました。

夏ボラは、夏休み期間を利用して、地域の課題を解決する活動をしているNPOに出向き、実際に活動のお手伝いを体験してもらうプログラムです。今年度は、定員一〇〇名の募集に対して三二八名の応募がありました。体験を希望するNPOとのマッチングの結果、事前学習会の段階で一〇〇名が今年度の体験をすることになりました。

## NPOをもっと知ってもらうために

このプログラムは、「NPOを知ること」を重要なポイントとしています。実際にNPOで体験する前に、ゆるるでは「NPOとは何か」、「ボランティアをするとは、どういうことか」についてじっくり学ぶ事前学習会に参加することが必須条件になってい

ます。

そして初めてのNPOにボランティアに行く不安を少しでも和らげるように、体験先のNPOと高校生との顔合わせもしています。体験前に、団体と連絡事項を確認することで、体験に向けた意識も高まっていき、体験日に向けてよりよい関係づくりができていきます。

今年度の事前学習会は、七月二十三日にみやぎNPOプラザで、二十四日には宮城県婦人会館で開催しました。

学習会では、社の伝言板ゆるるの代表理事の大久保朝江さんが、NPOとボランティアについて講義を行いました。



▲事前学習会の真剣なまなざし

が暮らす地域の中で、困りごとが出てきたとき、自ら何とかしよう、何とか解決しよう、と活動することの大切さを話しました。そして、NPOは多様な価値観があることを受入れ、その団体内のルールに従い活動することで、これまでの自

分の世界を少しだけでも広げるきっかけとなることや、これまで出会ったことがないNPOの人々との交流から、新しい自分を発見してほしいというメッセージを送りました。

## 新しい取り組みを開始!

夏ボラは、今年度もかほく「108」クラブと共催し、河北新報グループ十一社と東北労働金庫から協賛をいただいています。毎年、事前学習会のプログラムには、東北労働金庫の「お金の学校」のミニ講義を受けます。今年の担当は、宮城県本部の加藤義和さんです。講義では、クレジットカードや消費者金融の金利について、思いもよらぬ落とし穴の金額などについて話していたいただきました。

そして今年度から新しく取り組む「夏ボラブログ」での発信を前提に、「文章の書き方講座」を開催しました。講師は、河北新報社メディア局の八浪英明さん。体験を終えた高校生から3日以内に体験談をメールやFAXで送ってもらい、河北新報社が運営する地域SNS「ふらっと」で発信している「ゆるるの夏ボラ体験ブログ」で掲載していきます。ブログといえども多くの人が見ることから「文章は誰のためか」、「なぜ書くのか」、「伝わりやすい文章とは」について学びました。

## 待ちに待った瞬間

学習会の後半は、高校生を受け入れてくれるNPOとの対面です。待ちに待った瞬間に、高校生の目も集中していました。各NPOとの紹介後は、じっくり受入NPOと打合せ。体験当日に必要な準備物や交通手段について、説明を受けました。



▲体験日に備えてしっかりと

参加した高校生からは、「前からボランティアをしたいと思います。三年生になりました。体験して、これからの自分に生かしたいです」と話していました。

八月から始まる今年の夏ボラ体験。「ふらっと」内で、夏ボラの様子をお伝えしていきます。是非、ご覧ください。

## NPOで高校生の夏ボラ体験2011

夏ボラ体験先NPO：二三団体  
主催：(特活)社の伝言板ゆるる  
共催：かほく「108」クラブ  
協賛：河北新報社グループ十一社  
東北労働金庫  
問合せ：(特活)社の伝言板ゆるる  
(連絡先は裏表紙をご覧ください)



## 50歳からのNPO実践塾

～想いを形に～ 一步を踏み出すには・・・

宮城県内には現在約六百近いNPO法人があり、多くの方が活躍しています。その中には、仕事や育児が一段落したのち一步を踏み出した人たちがたくさんいます。大河原町で高齢者のための介護施設などを運営する、NPO法人ほっとあい代表の渡辺典子さんもそんなひとりです。

渡辺さんの実家は地域の人が集まるサロンのような場所です。いつもそこに集まる人達の力になっていて両親のもとで育った渡辺さんは、自然とボランティア活動に従事するようになりました。その後結婚・出産など日々の暮らしが忙しくなり、ボランティア活動からは遠のきましたが、子育てが一段落して自分の時間ができたとき、「自分のやりたいことはなんだろう？両親のやっていたような人を助けることではないか？地域の高齢者のために自分にできることはないだろうか」と考え、町社会協議会主催の「在宅介護を考える勉強会」に参加。終了後、受講仲間とNPO法人ほっとあいを設立し、訪問介護を始めました。

### 子どもの頃の想いを実現



また、活動を通して地域の多くの方達と縁ができました。「今まで多くの地域の方達に支えていただいたので、今後は自分たちの活動だけに留まらず、町を元気にするための支援などにも関わっていきたいと思っています」と渡辺さん。NPOとしてどんな活動の輪が広がっています。

### 自分にできる「社会貢献」を探る



▲ 渡辺典子さん

渡辺さんのように、社会のために何かしたい！と思いつながら、自分には何が出来るだろうか？と考える人のために、みやぎNPOプラザでは、日頃よりさまざまな支援を行っています。NPO法人を立ち上げたい人のためには専門相談を無料で行っている他、年三回、シニアやミドルの方を対象とした「五十歳からのNPO実践塾」を開催しています。

### 50歳からのNPO実践塾 第9期生募集 全6回 14時～16時

第1回 9/17 (土)	【まずは顔合わせ&NPOとは】
第2回 10/1 (土)	【NPO設立のポイント】
第3回 10/22(土)	【ワークショップ「キャリアの棚卸し」】
第4回 10/29(土)	【実践者から聞く】
第5回 11/12(土)	【NPO立上りプランニング・ワークショップ】
第6回 11/26(土)	【NPO活動プラン発表会・修了式】

定員：10名(申込先着順)  
参加費：4,500円  
※12名まで受付。  
対象：おおよそ50歳以上

残り、今期で八回目。各回十人程度の参加者が三ヶ月、五、六回の連続講座を受講し、自身のキャリアを見直して自分のできる社会貢献を探ります。

五月から開催された第八期では、キャリアの棚卸しや実践者からの話を聞くことなどを経て、参加者自身が立ち上げたいNPOについてのプランニングや、発表会などを行いました。参加者の中にはすでに既存のNPO法人でボランティアを始めたり、受講者同士でイベントを企画している人たちなど、それぞれにあった社会貢献を見つけて、動き始めた人も出ています。

第九期は九月から開催されます。想いを形にするための一步を、「五十歳からのNPO実践塾」から始めませんか？

### ■NPO法人の設立を新しく申請した団体

団体名	所在地	活動内容	受理日
ぐるっと	登米市	震災からの復興、地域の活性化及び産業の振興	6/13
HERO	仙台市泉区	東日本大震災被災地におけるキャラクターショー等	6/16
東日本大震災子ども未来基金	仙台市青葉区	東日本大震災で被災した児童・生徒への学習指導等	6/23
南蔵王郷四條司家御料荘園	白石市	食文化交流事業等	6/21
セージハウス	仙台市青葉区	集合住宅建設の企画・運営に関する支援事業等仙台市	6/30
World Open Heart	仙台市青葉区	社会的弱者や少数者のための人権相談事業等	6/30

### ■NPO法人に認証された団体

団体名	所在地	活動内容	受理日
セツ森大和会	黒川郡大和町	介護保険制度に関するサービス提供及び受託事業	6/16
サン・エー	栗原市	障害者自立支援法に基づく就労及び相談支援事業等	6/20

▲(2011年6月11日～7月10日まで)

▲(2011年6月11日～7月10日申請分)

### 宮城県のNPO法人数 589団体

(2011年7月10日現在数)

※解散、所轄庁変更、認証取消、撤回した団体を除く。

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。  
みやぎNPO情報ネット  
<http://www.miyagi-npo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
TEL: 022-256-0505 FAX: 022-256-0533  
E-mail: [npo@miyagi-npo.gr.jp](mailto:npo@miyagi-npo.gr.jp)



# 今日の 助成金情報

## 平成23年度共同募金による24年度事業への配分事業

※今年度の募金は「東日本大震災」の影響により、これまでも増して大変厳しくなるものと予測されます。平成24年度県域配分については今年度の募金が財源となるため、例年以上に慎重を期し、特に被害の大きい沿岸部の市町村受付分を優先的に決定します。

- 助成対象：配分内容により異なります  
※詳細はHPの募集要項をご確認ください
- 配分内容：1)社会福祉施設に対する配分  
2)社会福祉団体に対する配分  
3)子育て支援事業  
4)安心・安全な生活支援事業  
5)赤い羽根チャイルド大使育成事業  
6)難病救済活動支援事業  
7)児童養護施設自立支援事業  
8)災害支援活動
- 助成金額：配分内容により異なります
- 応募方法：所定の用紙に必要事項を記入し、各市町村共同募金委員会経由で提出
- 募集締切：8月31日(水) 必着
- 連絡先：(社福)宮城県共同募金会  
〒984-0051 仙台市若林区新寺1-4-28  
TEL:022-292-5001 FAX:022-292-5002  
E-mail:post@akaihane-miyagi.or.jp

## エイブル・アート・アワード 展覧会支援の部 2011年度募集

- 対象対象：障害のある人で、絵画や立体造形などの創作活動を行っている作家(個人、グループは不問)
- 助成内容：★展覧会開催に関する以下の資金を助成  
・ギャラリーの借り上げ費用  
・展覧会の企画全般を行うコーディネーターの派遣費用  
・案内ハガキの作成費用、エイブル・アート・ジャパン関係者・マスコミへのPR  
・展覧会開催に関する人的支援  
(展示・撤去作業、会期中のスタッフの配置)  
※額装費用、作品の搬送費用、作家や関係者の交通費は作家側の負担となります  
★下記2ヶ所のギャラリーで開催  
1)ガレリア・グラフィカbis(東京都中央区)(6日間)  
2)A/A gallery(東京都千代田区)(2週間程度) 予定
- 募集締切：8月31日(水) 必着
- 連絡先：(特活)エイブル・アート・ジャパン  
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14  
アーツ千代田3331 # 208  
TEL:03-5812-4622 FAX:03-5812-4630  
E-mail:info@ableart.org

## 平成23年度(第18回)ボランティア活動等助成

- 助成対象：特に在宅老人、障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動

- 対象団体：ボランティア活動を目的とした団体・グループ  
学生若者のボランティア活動も積極的に支援します  
※社会福祉協議会・共同募金会の推薦が必要です  
※第15回(平成20年度)以降に当財団の助成を受けた団体は、本年度の応募資格はありません
- 助成金額：1団体あたり上限30万円  
総額1,500万円(上限 1,800万円)
- 助成期間：平成24年1月～12月に行われる活動
- 募集締切：8月1日(月)～9月15日(木) 消印有効
- 連絡先：公益財団法人 大和証券福祉財団  
〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル  
TEL:03-5555-4640 FAX:03-5202-2014

## 第22回(平成23年度) 緑の環境デザイン賞

- 助成対象：緑豊かな都市環境の形成など生活の質の向上を図ると同時に、緑の持つ環境保全機能を積極的に取り入れることにより人と自然が共生する都市環境の形成に寄与するプラン  
※平成23年度内に工事完了が可能であるプラン  
※緑化プランの実現が可能な具体的な場所について応募してください
- 対象団体：地方の公益法人、特定非営利活動を行う団体、学校、商店組合、町内会、事業所等の法人や任意団体、地方公共団体、公団・事業団・公社、区画整理や再開発を行う組合等の団体、及びこれらと同等以上の団体であること
- 助成金額：1件あたり800万円以内(工事に係る消費税を含む)  
※表彰状も授与されます
- 募集期間：9月20日(火) 消印有効
- 連絡先：(財)都市緑化機構内 「緑の環境デザイン賞」事務局  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-15-2  
新神田ビル8階  
TEL:03-5256-7161 FAX:03-5256-7164  
E-mail:midori.info@urbangreen.or.jp

## 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

- プログラム：東日本大震災で被災された方を支援するボランティア活動等全般  
※被災地における活動だけでなく、全国の被災者の避難先、原子力発電所事故に伴う住民の避難先における活動も対象とします
- 対象団体：被災地をはじめ、全国で東日本大震災の被災者への救援・支援活動を行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等  
※任意のボランティアグループや団体等の場合、5名以上で構成されている団体であること
- 助成金額：活動期間によって異なります  
1週間以内：10万円以内 1ヶ月未満：50万円以内  
中長期(1ヶ月以上)：300万円以内
- 助成期間：平成23年3月11日から平成25年3月31日まで行われる活動
- 募集締切：第4次：平成23年8月10日(水)～9月30日(金)  
助成は11月初旬に決定  
※第5次以降のスケジュールは2ヶ月に1回程度の間隔で助成を行います
- 連絡先：社会福祉法人 中央共同募金会 企画広報部(助成金担当)  
TEL:03-3581-3846 FAX:03-3581-5755  
E-mail:support@c.akaihane.or.jp



- 場 所：エルパーク仙台 フィットネススタジオ
- 講 師：宮本由美子氏(村口きよ女性クリニックスタッフ、助産師)
- 対 象：おおむね40代以下の女性
- 定 員：15名(先着順)
- 参加費：500円
- 託 児：300円/人  
※申込開始日から先着順  
※対象：6ヶ月以上小1まで  
※しょうがいのあるお子さんや上のお子さんに  
ついてもご相談下さい
- 申込方法：下記連絡先まで申込
- 主 催：財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：エルソーラ仙台  
HPあり TEL:022-268-8044 FAX:022-268-8045  
URL:http://www.sendai-l.jp

## 8/26 NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日 時：8月26日(金) 13:00～17:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 定 員：3団体(先着順)  
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP6をご覧ください)

## 8/27 すまいるバザー がんばろう!宮城!

地域の皆様に日頃の感謝の気持ちをこめて、そして《がんばろう!宮城》をスローガンにかかげ、「すまいるバザー」を開催致します!バザーの開催にあたり、贈答品や手作り品などの提供品、そしてステージ発表頂ける個人・団体の方も募集します。

### 【イベント概要】

- 日 時：8月27日(土) 10:30～14:00
- 場 所：すまいる作業所(仙台市泉区南光台東3-11-35)
- 【贈答品募集】(担当:阿部)
- 直接お持ちいただける方：下記住所まで直接お持ちください  
(火曜日～土曜日の8:30～17:30)
- 取りに来ていただきたい方：下記電話番号までお問い合わせください  
(火曜日～金曜日の13:30～15:30)

### 【ステージ発表者募集】(担当:阿部、山下)

- 内 容：手品、舞踊、カラオケ、バンド演奏など  
団体・個人は問いません

### 【共通事項】

- 主 催：(特活)コスモスクラブ/すまいる作業所
- 連絡先：〒981-8001 仙台市泉区南光台東3-11-35  
TEL/FAX:022-773-8610

## 女性のためのこころのケア講座 「喪失とグリーフ(深い悲しみ) ～深い悲しみに向き合ってみよう」

自分らしく生きていくために、回復に向けてできることは…「わたしがわたしを大切にすること。傷ついた経験(DVなど)をもつ女性のための講座です。講座の終わりには、持ち帰りのできるしおりやカードなどをつくります。

- 日 時：8月28日(日) 13:30～15:30
- 場 所：エル・パーク仙台 セミナーホール(予定)  
(141ビル(仙台三越定禅寺通り館)5F)
- 対 象：仙台市内に在住・通勤・通学している、高校生以上の当事者の女性
- 定 員：30名(先着順)
- 参加費：500円(アート材料費、お茶代)
- 託 児：要申込、先着順(8月18日(木)締切)  
※子ども1人につき300円/回  
※6か月以上小学1年生まで  
※しょうがいのあるお子さんや上のお子さんに  
ついてもご相談ください
- 申込方法：受付開始日の午前9時より電話にて受付
- 受付開始：8月6日(土)から
- 主 催：仙台市/(財)せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台  
相談支援係  
TEL:022-268-8302  
(受付時間9:00～17:00、日祝・休館日を除く)

## 8/28 東日本大震災 被災マンション復興セミナーin宮城

- 日 時：8月28日(日) 13:00～17:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター  
地階シアターホール
- 内 容：(1)講演「支援制度－使えるものは何でも使おう」  
被災マンション復興のための各種支援制度  
講師：高橋邦哉氏(マンション管理士)  
(2)講演「ここがポイント・復旧工事の進め方」  
被災マンション復旧工事の実例紹介  
講師：浅野豊明氏(マンション管理士、防災士、技術士)  
実際に工事を進めている管理組合の皆さま  
(3)意見交換・交流会  
被災マンションの復旧・復興の知恵を育む
- 申込方法：所定の申込用紙に必要事項を明記の上、下記連絡先までFAXまたは電話
- 主 催：一般社団法人宮城県マンション管理士会
- 連絡先：(担当:高橋)  
TEL:022-398-3021 FAX:022-244-6021

## 8/30 被災地「支援者」のためのスキルアップ研修&相談会 第1回 問題解決スキルアップ!

「気持ちはわかるけれど、どうしてあげればよいかわからなくて辛い」「問題が複雑すぎて、解決策に困っている」被災地支援の現場で困っていること、悩み、ストレスなど、これから長期的な支援を続けていくうえで、どのように対処したらよいか。皆で一緒に考えてみませんか。

- 日 時：8月30日(火) 19:00～21:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
- 講 師：若島孔文氏  
(東北大学大学院教育学研究科准教授、臨床心理学)
- 対 象：被災地支援、復興支援に関わる人々すべて
- 定 員：30名
- 参加費：無料
- 主 催：人権NPO World Open Heart
- 連絡先：TEL:022-398-7129、090-5831-0810  
HPあり E-mail:world.open.heart@gmail.com  
URL:http://www.worldopenheart.com/index2.html



- 日時：8月14日(日)～8月20日(土) 6泊7日
- 場所：くりこま高原自然学校松倉校及び周辺地域(宮城県栗原市)
- 内容：里山ハイキング、動物の世話、農業体験、川遊び、野外泊、アウトドアクッキング、ものづくり、キャンプファイヤー(予定)
- 対象：宮城県内の小学1年生～小学6年生
- 定員：20名(定員になり次第受付を締切)
- 参加費：35,000円(宿泊費、食費、指導料など)  
※参加者は当団体の加入する野外活動保険が適用されます
- 申込方法：所定の申込書に記入の上事務局に郵送またはFAXで申込
- 主催：(特活)くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所
- 実施協力：くりこま高原自然学校/イーハトーヴ北上川自然学校
- 連絡先：事務局(担当:菅原・塚原)  
HPあり 〒989-5372 栗原市栗駒松倉中山田16  
TEL:0228-49-3155 FAX:0228-49-3166  
E-mail:info@kurikoma.org  
URL:http://kurikoma.org

## 8/19・9/9 バレスチナ問題連続学集會

東日本大震災以来中断していた連続講座を再開することになりました。「バレスチナ問題って、時々ニュースで聞くけど、よくわからない」「宗教がからんでいるの?」「どうしてアメリカはイスラエルをひいきしているの?」など疑問を持つ方のため、連続学習会を行います。

- 日時・内容：★第5回 8月19日(金) 18:30～20:30  
「スライドで見るバレスチナ」  
場所:エルパーク仙台・セミナー室
- ★第6回 9月9日(金) 18:30～20:30  
「アメリカによるイスラエル支援の実態」  
場所:エルパーク仙台・創作アトリエ
- ※エルパーク仙台:仙台市青葉区一番町4-11-1  
仙台三越定禅寺通り館内
- 参加費：100円
- 主催：バレスチナと仙台を結ぶ会
- 連絡先：(担当:石川)  
TEL:022-251-3106  
E-mail:musubukai@yahoo.co.jp

## 8/20・9/24 2011年 カウンセリング講座

私達を取り巻く諸環境、情勢が著しく複雑化し、心が満たされぬことが随所に見られます。特に今回の震災による環境の中で「こころに寄り添う」ことの大切さを一般市民の方と社会の中でどう役割を担っていったらよいかを考える講座を開催します。

- 日時：8月20日(土) 「子供(思春期)の心を理解する」  
9月24日(土) 「自己肯定の為のワークショップ」  
各回13:30～15:30
- 場所：仙台市民活動サポートセンター6F セミナーホール(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 参加費：1,000円/1講座  
※入会金3,000円納入の方は年間講座無料
- 申込方法：下記連絡先まで、氏名、住所、電話番号、年齢、希望の講座を明記の上、FAXにて申込
- 主催：仙台市カウンセリング研究会
- 連絡先：事務局  
FAX:022-251-4961

## 8/21 健康講座第23回「夏バテと健康管理」

- 日時：8月21日(日) 13:30～14:50
- 場所：みやぎNPOプラザ 第2会議室(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 講師：鷲岳透氏(整体師、健康管理士)
- 対象：どなたでも
- 参加費：300円(当日支払い)
- 主催：(特活)宮城県健康管理士会
- 連絡先：(代表:太田)  
TEL:022-281-2388 FAX:022-281-0827

## 8/21 テーブルゲームであそぼう4

日本やドイツ、フランスのボードゲームやカードゲームで遊べます。子どもおとなも一緒に楽しめます。ご家族やお友達どうぞどうぞで、ぜひどうぞ!

- 日時：8月21日(日) 13:00～16:00
- 場所：仙台国際センター交流コーナー 研修室A
- 主催：こりれいず(もうひとつの子どもおとなりレーションズ)
- 連絡先：TEL:070-5470-6355(17:00～22:00)  
E-mail:korireizu@willcom.com

## 8/24・9/8 NPO夜学～あなたにもできる市民活動～

### 【基礎編】

- 日時：8月24日(水) 19:00～21:00
- 「何か社会貢献したい」「震災後、よく耳にするNPOって、何?」そんなあなたのために、市民活動をわかりやすく伝える夜間開催の講座です。当日は、働きながら市民活動に携わっている方をゲストに迎えて“生の声”を聞きます。

### 【設立編】

- 日時：9月8日(木) 19:00～21:00
- 設立までの手続きは、設立後の運営にも影響する非常に大切な道のりです。申請に必要な準備やメリット・デメリットはもちろん、経験者豊富な講師だからこそ知る重要なポイントをお伝えします。

### 【共通事項】

- 場所：みやぎNPOプラザ
- 講師：大久保朝江((特活)社の伝言板ゆるる代表理事)
- 対象：NPO・市民活動・ボランティア活動に関心のある方
- 定員：各25名(申込先着順)
- 資料代：各800円
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP6をご覧ください)

## 女性のための健康セミナー 40代までの骨盤底筋トレーニング ～自分で出来る尿もれ対策

妊娠・出産した女性の半分は尿もれの経験があります。決して珍しいことではありません。正しい知識や対策を、女性講師から学ぶセミナーです。骨盤底筋をきたえれば、尿もれだけでなく、便秘や腰痛解消にも!?骨盤を意識して、あなたのからだをケアしましょう。

- 日時：8月24日(水) 10:30～12:00



- 募集人数：120名程度
- 申込方法：所定の応募用紙に記入の上、FAX、メール、または直接国際センターへお持ちください  
申込用紙は下記HPからダウンロード可能です
- 申込締切：8月22日(月) ※定員になり次第締切
- 募集主体：せんだい地球フェスタ実行委員会
- 連絡先：〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター  
HPあり (財)仙台国際交流協会内  
TEL:022-265-2480 FAX:022-265-2485  
E-mail:kawaai@sira.or.jp  
URL:http://www.sira.or.jp/festa/

## 有給スタッフ募集

### 障害児・者の支援員募集

障害児、知的障害者のショートステイ事業所です。宿泊業務専門の支援員を募集します。

- 勤務時間：16:00～9:00までの勤務で週40時間以内
- 勤務場所：仙台市泉区七北田字日野「つばめっこハウス」
- 勤務内容：宿泊支援
- 資格：ホームヘルパー2級以上
- 待遇：1泊につき7,000円支給(深夜増を含みます)  
交通費実費支給(上限あり)、車通勤可能
- 募集人数：3名
- 申込方法：履歴書を下記住所まで送付し申込。確認後連絡します
- 主催：(特活)つばめっこ
- 連絡先：〒981-3214 仙台市泉区泉中央2-19-10  
HPあり TEL:022-371-0760 FAX:022-371-0760  
E-mail:spy478q9@aroma.ocn.ne.jp  
URL:http://www1.ocn.ne.jp/~tubamekk/index2.html

## お知らせ

### 平成23年度 3R講師派遣事業

楽しみながら3R(Reduce/Reuse/Recycle)を学んでみませんか！市民の皆さまのごみ減量・リサイクルの推進や環境問題に関する研修を支援するため、ごみ減量・リサイクルを楽しく学べる3R講師を派遣します。ぜひご活用下さい。

- 内容：・リフォーム各種(古布などを利用した小物作り)  
・ある食品で作る針刺し(針刺し作りの体験)  
・買い物ごっこ(環境にやさしい商品選び)  
・ふるしきラッピング(ふるしき、パンダナの活用法)

- ・生ごみを堆肥化して美しい花・美味しい野菜を作ろう(コンポスター、ダンボール式、密封式、電気式、木枠式のいずれか一種)
  - ・古紙で再デビュー(古紙を利用した小物作り)
  - ・毛糸でかわいい♪アクリルたわし作り(簡単なアクリルたわし作り)
  - ・マイ箸袋を作ろう！(オシャレなマイ箸袋作り)
- ※対応可能日や持ち物等詳細は下記連絡先までご確認ください

- 対象：仙台市内に在住、勤務、在学する概ね10名以上が参加予定の団体等  
※学校行事、または市民センター講座での利用はご遠慮下さい
- 定員：先着20組まで
- 参加費：無料  
※研修によっては材料のご用意や、材料代等の実費をいただく場合があります  
※会場は申し込みを行った団体にご準備いただきますが、その際の会場費などは申し込みを行った団体で負担していただきます
- 申込方法：専用の用紙による申し込みが必要。下記連絡先までお問合せ下さい
- 連絡先：アメニティ・せんだい推進協議会事務局  
(仙台市環境局ごみ減量推進課内)  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-7-17  
小田急仙台ビル10F  
TEL:022-214-8230 FAX:022-214-8840

## 講座・イベント

毎週水曜日

### NPOのための法人設立・団体運営相談

NPO法人の設立に関わることや、NPOの運営について、お気軽にご相談ください。

- 日時：毎週水曜日 13:00～17:00
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 定員：3団体(先着順)  
※要予約。相談時間は1団体約1時間。
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP6をご覧ください)

8/14

8/20

### 夏のくりこま冒険塾

川あそびに虫さがし、夜はキャンプファイヤーを囲んでみんなで歌を歌おう。仲間と過ごす田舎の夏はドキドキがいっぱい。夏休みはくりこまで遊びつくそう！

## ありがとうございます

今月の新入会員・継続会員 (2011.7.15現在) 敬称略

《正会員36名》

★仙台市 遼山青葉印刷(株) 北尚登  
(特活)FOR YOUにこにこの家 佐藤わか子 福原和源

★石巻市 (特活)いしのまきNPOセンター

《賛助会員20名》

★大河原町 堀江詠理子

《情報会員77名》

★仙台市 仙台市社会福祉協議会 杉山裕信 (有)平野印刷所

春風の家 (財)宮城県国際交流協会

★白石市 一条みち子

★名取市 渡辺聖子

## 会員募集

会員種類	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

郵便振替口座 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる

(会員申込みの方は、通信欄に  
会員の種類をご記入下さい)

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営やそれに参加するボランティアの育成を支援している団体です。

特に1997年に創刊した月刊ゆるるは、市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。

これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

■会員には毎月「月刊ゆるる」が届きます

※正会員以外は、総会での議決権がありません



# information

7月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。  
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

## ボランティア募集

### 夏休みボランティアさん大募集

夏休みに障害のある子どもたちと一緒に遊んでくれるボランティアさんを大募集しています！ 私たちと一緒に、素敵な夏休みの思い出を作ってみませんか？

- 活動日時：7月21日(木)～8月24日(水) 9:30～15:30
- 活動場所：★小学部
  - ・コスモスクラブ  
(仙台市宮城野区鶴ヶ谷3-17 鶴ヶ谷小学校内)  
TEL:022-251-7333
  - ・どんぐり(仙台市宮城野区岩切字入山83-92)  
TEL:022-255-7001
- ★中高部
  - ・にこにこの家(仙台市宮城野区鶴ヶ谷7-21-1)  
TEL:022-252-9331
  - ・ぼかぼかの家(仙台市青葉区小松島3-3-12)  
TEL:022-718-6556

※希望の方には各拠点の最寄駅まで送迎があります
- 活動内容：子供たちと一緒に出かけやお料理会などします  
※昼食は企画に合わせてお弁当か、外食の場合は一部負担します
- 主催：(特活)コスモスクラブ
- 連絡先：〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷3-17  
TEL/FAX:022-251-7333  
E-mail:cosmosclub@gaea.ocn

### ARABAKI ROCK FEST.11 環境対策ボランティア募集！

今年で11回目を迎える野外ロックフェスティバル「荒吐ロックフェスティバル」において、ゴミの分別や資源回収を行ってくれるボランティアを募集します。東北パワーで、東北が誇るフェスを成功させよう！

- 活動日時：1)1泊2日コース  
8月27日(土)8:00～8月28日(日)23:00  
2)2泊3日コース  
8月27日(土)8:00～8月29日(月)11:00
- 集合場所：・県外の方：仙台駅 ・県内の方：大河原駅  
※各駅から専用のバスにて会場まで移動
- 活動内容：★ゴミ・資源の分別ナビゲート  
★オリジナルごみ袋の配布  
★ecoアクションキャンペーンブース運営  
★資源回収とリサイクル など
- 事前説明会：必ずいずれか1日出席が必要  
【仙台】8月20日(土) 19:00～21:00  
8月24日(水) 19:00～21:00  
場所：仙台市市民活動サポートセンター  
【山形】8月21日(日) 予定  
場所：山形駅周辺施設  
【東京】8月23日(火) 18:30～20:30  
場所：エコギャラリー新宿

- 申込方法：下記連絡先までFAX、郵送、またはごみゼロナビゲーションのwebサイト(<http://www.gomizero.org/>)から申込  
※申込用紙はwebサイトからダウンロードできます
- 主催：国際青年環境NGO A SEED JAPAN
- 連絡先：〒160-0022 東京都新宿区新宿5-4-23  
HPあり TEL:03-6366-7584 E-mail:info@gomizero.org  
URL:<http://www.aseed.org/>

### セッケン海岸清掃ボランティア募集！！

震災後、地元のサーフショップの方などがセッケン海岸の海岸清掃を行っています。また、海岸には多くのガレキが残っています。一緒にセッケン海岸を元のきれいな姿に戻しませんか？

- 日時：7月23日(土)～9月4日(日)の毎週土・日  
9:45～12:00ごろ
- 活動場所：セッケン町の海岸
- 集合場所：セッケン「レスキューストックヤード きずな館」前  
(セッケン町吉田浜字野山5-9)  
※駐車場に限りがある為、お車は乗合でお越しください
- 参加条件：事前の予約が必要になります。4～5名1チームでお申込みください  
体調が良好な方のみご参加ください
- 定員：50名
- 募集主体：レスキューストックヤード きずな館
- 連絡先：E-mail:kizuna@rsy-nagoya.com

### せんだい地球フェスタ2011 ～世界中のともだちへ ありがとう～ ボランティア募集

せんだい地球フェスタとは、多文化共生や国際協力などの活動をしている団体が集合し、様々な国の文化や習慣、雰囲気味わえる年に一度のお祭りです。外国語がしゃべれなくても大丈夫！みんなでわいわいフェスタを盛り上げましょう！

- 活動日時：【説明会】8月27日(土)または8月29日(月)  
【準備日】9月22日(木)  
【イベント当日】9月23日(金・祝)
- 活動場所：仙台国際センター(仙台市青葉区青葉山)
- 活動内容：(1)インフォチーム  
会場案内、プログラム配布、シャトルバス乗客誘導補助  
(2)ステージチーム  
司会、ステージ補助、出演者誘導、会場盛り上げ  
(3)エコチーム  
分別の呼びかけ、ゴミ撤去  
(4)ブースチーム  
ブース出展団体の活動補助、団体紹介、物品販売  
(5)記録チーム  
会場内の写真撮影、アンケート調査  
※自分のデジカメを持っている人限定のチームです  
(6)企画チーム  
ボランティア企画イベント運営
- 参加条件：・16歳以上でEメールでの連絡が可能な方  
(携帯メールもOK)  
・多文化共生や国際交流、国際協力の取り組みに関心のある方  
・上記日程(説明会、準備日、当日)に全て参加できる方  
・ボランティアとしての自覚を持って参加できる方
- 待遇：交通費やTシャツの支給はありません  
※Tシャツを希望の方は500円で購入できます



## 体験型ボランティア 参加者募集!! 東北ろうきんNPOパートナーシップ2011

NPOは、地域の問題や困っていることを何とか解決しようと自主的に活動している市民団体です。熱い思いを持って、よりよい社会になるよう、日々活動しています。そんなNPOで、ボランティア体験してみませんか? 気になるNPOを選んで、新しい出会いに一步踏み出してみましょう。

### ボランティア体験期間

2011年 8月  
～ 12月22日

主催：東北労働金庫  
事務局 営業統括部  
営業店支援 (担当：石垣)  
〒980-8661  
仙台市青葉区北目町1-15  
TEL：022-723-1118  
FAX：022-215-3169

### 体験先NPO

- 地域生活支援オレンジねっと
- (特活) 仙台夜まわりグループ
- 国際交流ボランティアグループ ともだちin名取
- (特活) 蔵王のブナと水を守る会
- (特活) ホームひなたぼっこ
- (特活) FOR YOUにここにこの家
- (特活) ばざーる太白社会事業センター ビートスイッチ
- 名取ハマボウフウの会

ボランティア 申込み 問合せ先	(特活) 杜の伝言板ゆるる 〒983-0852 仙台市宮城野区榎岡3-11-6 コーポラス島田B6 TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327	(特活) せんだい・みやぎNPOセンター 〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4階 TEL：022-264-1281 FAX：022-215-3169
-----------------------	--	---

## 復興みやぎ

### ～被災したNPOの復興支援募金サイト～

杜の伝言板ゆるるは、被災し資金が不足している各NPO法人のページを作り、これまでの活動状況や被災状況、今後の計画について掲載。寄付者が応援したい団体を直接選んでNPO法人に寄付する仕組みをつくりました。

**NPOの現状を受け止め、募金活動にご協力ください!**

**URL：http://fukkou-miyagi.jp/**

お問合せ 連絡先 | NPO法人 杜の伝言板 ゆるる  
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327 Mail：npo@yururu.com URL：http://www.yururu.com